

科目番号 9

授業科目名： 文学作品と英語指導	講義日： 10月 6日（土） 10月13日（土）	単位数： 1単位	担当教員名： 相田 明子 担当形態： 単独
科 目	教科に関する科目（中学校 英語）		
施行規則に定める科目区分	英米文学		
授業の到達目標及びテーマ 「英語で書かれた文学作品（絵本、子ども向けの歌や詩等）について学び、英語指導への応用について考える。」			
到達目標 (1) 英語指導において必要な児童文学に関する基礎的知識について、理解したことの要点をまとめ、自分の考えを伝えることができる。 (2) 文学作品について学んだ事柄をどのように自分の英語指導に活かすことができるかについて具体的な提案をすることができる。			
授業の概要 英語で書かれた文学作品（絵本、子ども向けの歌や詩等）を中学校の英語指導において活用する上で土台となる知識を深め、その活用方法について実践的に学ぶ。易しい英語で書かれた文学を聞くこと及び読むことによって理解し、文学作品に含まれる典型的な英語基礎表現についても学ぶ。児童文学を含む平易な英語で書かれた文学作品についての知識を講義で深めた後、受講者は文学作品を利用した指導方法について演習形式で検討する。平易な表現で書かれた文学作品を多く読むことによって英語運用能力を伸ばすこともねらいとする。			
授業計画（各回90分） 第1回：「子ども向け」の文学とはどのようなものだろう。英語圏の児童文学の成立と発展について、文化的・時代的な背景をふまえながら概要を学ぶ。 第2回： <i>Mother Goose</i> を読む—英語圏で古くから親しまれてきた <i>Mother Goose</i> の「詩」や「おはなし」を英語で読み理解を深める。その際、英詩を理解するために必要な基本的な知識を学ぶ。 第3回： <i>Mother Goose</i> を楽しむ—第2回目で学んだ詩を、音声教材で聴き、韻やリズムに気を付けながら実際に声に出して読んでみる。同様にメロディのついた詩を歌ってみる。 第4回：ペローの「お伽噺」について①— <i>Little Red Riding Hood</i> を英語で読み、「お伽噺」の形式や、提示された「教訓」について考える。 第5回：ペローの「お伽噺」②— <i>Cinderella: The Little Glass Slipper</i> を英語で読み、現代版のストーリー内容と比較・考察をすることで、お伽噺の役割について考えを深める。 第6回： <i>Alice in Wonderland</i> —日本人に良く知られている場面を中心に取り上げ、実際に英語で書かれた作品を読む。映像を見たり、朗読を聴いたりして、イギリス英語にふれる。 第7回：挿絵や写真、音声教材や視覚教材を活用した効果的な授業について検討する。 第8回：「子ども向け」の文学作品を利用した授業での英語指導方法について、実践を交えて検討する。授業の後半で確認のための試験をおこなう。			

テキスト：配付資料を用いる。

参考書・参考資料等

- (1) 『マザー・グース』 谷川俊太郎訳. 東京：講談社, 1981. (講談社文庫)
- (2) 『ペロー童話集』 シャルル・ペロー作；荒俣宏訳. 東京：新書館, 2010.
* (1)(2)とも東北学院大学図書館(土樋)所蔵。
- (3) 文部科学省『中学校学習指導要領解説外国語編』
- (4) 村野井仁（編）『コア・カリキュラム準拠 小学校英語教育の基礎知識』（大修館書店）
- (5) 第6回目の授業までに、DVD・ブルーレイなどの『ふしぎの国のアリス』（ウォルト・ディズニー・クラシック）を視聴しておくことが望ましい。
- (6) 授業には必ず英和辞書を準備すること。（電子辞書可、携帯・スマホの辞書機能は不可）

学生に対する評価

到達目標 (1) 授業内でおこなう試験 (50%)

到達目標 (2) ①授業内でのアクティビティ (40%) ②受講中の課題などの提出物 (10%)